市衛生委員連合会(北村武会長)では、このほど開かれた評議員会で、毎月第三日曜日を『河川清掃の日』と定め、市内全域の河川一掃に取り組むことになりました。

これは、最近、各地区単位や老人クラブなどで積極的に清掃が行われ、河川美化の気運が高まりつつあるところから、各種団体（子供会、老人クラブ、青年団、婦人会、公民館など）に呼びかけるとともに、市からも収集車を出し事後処理を行うなど、市民総ぐるみの運動にしていこうというものです。

処理方法については、協力団体の申込により、市から収集車を出し処理を行う。また、小さいゴミについてはゴミ袋を配布してステーションで処理することになります。

申込は、公害環境課環境整備係☎(3)2111（内線325）までご連絡ください。各団体のご協力をお願いします。

親ぼくと福祉の向上を

身体障害者福祉大会

第三回目の市身体障害者福祉大会が十月二十日、社会福祉センターで約四十人が参加して開かれました。この福祉大会は、身体障害者の親ぼくと福祉の向上をと、市身体障害者協議会(前岡繁政会長)によって一昨年から開かれているものです。

まず、前岡会長が「参加者は少ないが、いつまでもほがらかに、健康であれるようこの会を有意義なものにしていきたい。」とあいさつ。これに続いて田岡収入役ら来賓から「身体面においても精神面においてもつらく苦しいことが多いと思いますが、今日を契機とし、また新らたな目的に向って頑張ってください。ともどもに手を取り合い福祉向上のために努力していきたい」と激励のことば。

会では、徳橋義仲さんの体験発表、五十年度の事業実績報告、五十一年度の事業計画報告などのあと研究討議を行った。「補装具の自己負担をなくせ」「公共施設を身障者が利用できるよう改善せよ」「障害者年金の幅を拡大増額せよ」「身体障害者の医療費を無料化せよ」の大会統一要求を全員一致で採択し、「みんなが一致団結して福祉の向上を目指そう」と、組織づくりなど今後の活動を確認し合った。

最後に参加者全員で親ぼく会。浪曲や民謡、舞踊などのレクレーションで楽しいひとときをすごしました。

検査　小型船舶所有者のみなさんへ

昭和四十八年九月の船舶安全法の大幅改正により、長さ十二㍍未満のモーターボートや遊漁船、作業船などの小型船舶および専用漁船が人を乗せたり遊漁を行ったり、荷物を運んだりする場合等のエンジン付きの船(船外機船を含む)は、なるべく早く検査を受けるよう手続きをして下さい。

昭和五十二年四月一日以降には、検査を受けずに航行していると処罰の対象となります。

なお、詳しいことについては次のところへご照会下さい。

市役所産業経済課商工水産係☎③2111

日本小型船舶検査機構高知支所（高知市上町2丁目2の11 久保内ビル）☎0888(72)3129

調査　国道三十二号線の敷地調査

国道三十二号線の敷地調査のため、五十一年十月二十九日より五十二年二月二十八日までの間、成合地区に建設省土佐国道工事事務所が立ち入ります。

野犬　不要犬の買上げを一時中止

毎月一回市役所で行っている不要犬の買い上げを一時中止しています。

これは、高知市にある犬を処分する野犬抑留所が先の台風十七号の豪雨により土砂に埋没したことによるもので、復旧できるまで当分の間は買い上げができませんので、市民のみなさんのご協力をお願いします。

公害環境課

募集　盲青年社会生活教室

盲青年社会生活教室が開かれます。

これは、盲青年層に属する重度の視覚障害者に対して、社会生活上に必要な知識の習得や体験交流などが行える場を設けることにより盲青年の福祉の増進を図ろうと、県身体障害者連盟が行うもの。

■対象者・視覚障害により身体障害者手帳（一・二級）で十八歳から三十歳までの人。

■講習内容・「人間関係」「生活設計」「職業」「芸術、文化」「健康管理」「その他社会生活上必要なこと」など。

■対象者数は五十人、高知市を会場に月二回、年十回行われます。なお、経費は参加旅費のみ本人負担となっています。

くわしくは福祉事務所社会係までおたずねください。

福祉事務所社会係

銃の取扱いは慎重に

11月15日狩猟解禁

ハンターのみなさん、待望の狩猟が十一月十五日に解禁しました。

この時期になると毎年のことながら、いたましい猟銃による事故が後を絶ちません。今年もすでに、ハンターとしての基本的な取扱いに注意を怠った、初歩的なミスによる事故がおこっています。

一人ひとりが銃の危険性を再認識するとともに、次の基本的なルールを守り、猟銃事故をおこさないようにしましょう。

■銃口は、人に向けない。

■グループで猟をするときは、お互いの位置を確かめ合う。

■発射するときは、矢先の安全を確かめる。

■弾の装てんは、必要最少限にする。

■安全装置を過信しない。

■水平撃ちはしない。

無事故で狩猟をたのしみましょう。

南国警察署

文化祭終る

熱演、力作いっぱいで

南国市文化祭は今年で第三回目をむかえ、市民体育館を会場に、展示、舞台部門で十月三十日から十一月五日まで行われました。

展示部門では、写真、生花、絵画、俳句など約百八十点がならべられ、会場を訪ずれた人々の目を楽しませていました。

また、十月三十日、三十一日の両日と十一月三日と行われた舞台部門では、大正琴、コーラス、詩吟、詩舞、三味線、日本舞踊が花をそえ、にぎやかな会場風景でした。

会場を訪ずれた人々は、延べ一千人となり、芸術の秋のしばしの時間を、一画に設けられたお茶席ですごし、あちらこちらで芸術談議が聞かれるなど、「市民が自由に参加できる文化祭」にふさわしい催しとなりました。

訂正　おわびします

十一月一日号の広報、十一ページの『市展あれこれ』で、無鑑査は現在十三人と掲載しましたが、日本画の伊尾木正太郎さんが掲載もれで現在十四人です。おわびして訂正いたします。